

令和2年度 地域包括支援センターの認知症施策の取り組み

	目 標	具体的な取り組み	実績	課題・今後の方向性
第一 北 包 括	認知症になっても、 最後まで住み慣れた 地域で自分らしく暮 らし続けることがで きる地域づくりを目 指します。	若い世代や職域サポーターを養成する。	学童（北部4小学校区）で2月に開催、他学童は働 きかけ中 小中学校や管内の企業等に働きかけたが開催には至 らなかった	小中学校で認知症サポーター養成講座を開催 していく。
		みまもりあいアプリを活用して検索模擬 訓練を実施する。	稲荷町で3月実施予定 横井町にも働きかけた	実施の効果があれば、来年も継続の予定。
		オレンジカフェの新設を目指す。	①既存のオレンジカフェは、コロナの影響で実施で きなかった ②新設までに至らなかったため、来年度新設を予定 していく。	オレンジカフェを新設していく。
		チームオレンジを立ち上げ、今後の活動 について協議する場を設ける。	2月に開催予定	連絡会を年2回開催する。
第二 包 括	認知症の方が暮らし やすい地域を目指し 共生と予防ができる ように働きかけま す。	オレンジカフェにチームオレンジを設置 し、活動する。	チームオレンジ「きずな」を結成した。1/22リモ ートでチームオレンジがオレンジカフェ・居場所、第 一生命との3元中継を行った。	チームオレンジ中心でリモートで活動できる よう取り組み始めている。今後、他の居場所 やしまトレ会場にリモートを拡げていく。
		地区団体で認知症介護に関するアンケー トを実施し、地域課題を抽出し、課題解 決に取り組む。	コロナのため活動自粛団体が多数あったため未実 施。	現在、地域活動の参加者以外に対象者を拡げ て、実施するか検討する。
		二中学校区の企業を中心に認知症サポー ター養成講座を実施する。	4回開催 （ミミの会、大津小学校、第一生命：2回） ※ 今年度中にもう2カ所開催予定 （島田商業高校定時制、第四地区民協）	積極的な講座の実施促しはできなかったの で、リモート開催での実施を提案する。 引き続き企業に講座の案内をしていく。

	目 標	具体的な取り組み	実績	課題・今後の方向性
六 合 包 括	地域住民が認知症の理解を深められるように地域への普及活動に努めます。	認知症サポーター養成講座を行う。	①認知症サポーター養成講座は、新型コロナウイルス感染拡大により中止となった。 ②地域ふれあいで普及啓発を行った。	①小学校・中学校には、年度末まで学校側と協議を継続する。 ②引き続き定期的にふれあい、居場所の中で啓発活動を行う。
		認知症の方を支えられるように地域の方と協力してサポート体制づくりに努めます。	①キャラバンメイト連絡会を2回実施（6月、令和3年1月） ②介護職を対象に認知症サポーター養成講座を企画したが、参加予定の事業所から新型コロナウイルス感染のリスクから不参加が相次いだ為、延期とした(次回開催日は未定)	①キャラバンメイトを増やす。 ②近隣の事業所の介護職員や地域住民に向けて認知症サポーター講座の開催とチームの活動内容を検討していく。
		認知症やその家族の相談窓口となり、見守りなど柔軟な相談ができる居場所を作る。	①東町オレンジカフェは、新型コロナウイルス感染拡大の影響で開催できなかった。 ②六合公民館で令和3年2月にオレンジカフェを内容を変更して開催予定。	①②オレンジカフェ開催に向け、場所(オンライン)や相談窓口について検討する。
初 倉 包 括	地域住民が認知症を知る機会を作り自然に接することができるよう支援します。	若い世代が認知症を理解し接することができるようにする。	認知症サポーター養成講座を4校で実施。	年齢に応じた講座を提供できるよう内容の見直しをして、継続をしていく。
		認知症の方と家族、専門職が情報交換できるように支援する。	認知症カフェは、コロナ渦での開催には消極的であり実施できなかったため、実施内容を検討するように働きかけを行った。	意見交換会等で情報収集をしながら開催への準備を進めていく。
			チームオレンジ連絡会を2~3か月おきに、定期的開催した。	養成講座の打ち合わせの他に、チームオレンジとしての活動（チラシの発行・居場所での講話）を検討する。

	目 標	具体的な取り組み	実績	課題・今後の方向性
金谷包括	地域住民が認知症予防の意識を高めるとともに、認知症になっても安心して暮らせる地域のサポート体制を整えます。	チームオレンジを1チーム結成し、認知症の本人・家族が必要とするニーズ把握を行い、足りない資源について検討する。また、認知症サポーターを増やし活動できる場を作る。	①チームオレンジ連絡会を2回開催し「チーム茶つきり」結成、「いっぶく処」で活動を開始 ②認知症サポーター養成講座は事業所、民生委員対象に3回開催 ③エコトープの認知症カフェはコロナで中止	「いっぶく処」での活動内容を本人ミーティングに向け検討していきたい。また、認知症カフェが金谷地区に少ないため新規立ち上げを目指す。
		福祉教育を通して高齢者への理解と支援の必要性を若い世代に伝える。	認知症サポーター養成講座を放課後児童クラブ、金谷高校対象に2回開催	引き続き若い世代のサポーターを増やしていく。
川根包括	認知症の理解を深めるための周知・啓発活動を推進します。	認知症に対する正しい知識と対応方法を学ぶ機会をつくる。	認知症サポーター養成講座を2ヵ所開催（2月にもう2ヵ所開催予定あり。）	職域にも認知症サポーター養成講座を広げていく。
		認知症キャラバンメイトや認知症サポーターと連携し、地域での取り組みを検討していく。	認知症キャラバンメイト連絡会開催。チームオレンジちゃのみ結成。	チームオレンジちゃのみの活動内容を具体的に検討していく。
		医療機関・ケアマネジャーと連携し、認知症患者と介護者が相談や交流ができる機会をつくる。	認知症カフェはコロナの影響で縮小して開催。10月から主体を変更して月1回開催している。	コロナが収束した時には、地域住民や医療機関・ケアマネジャーへも参加を呼びかけていく。

実績は令和3年1月末までの件数